

WICIシンポジウム
(2011.12.1)



IRツールやメッセージの一元化に向けた取組み

近藤 成径 (Kondo Shigemichi)

第一三共株式会社 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ長

2010年度以前の姿

機関投資家向けIR

IRツール

- ・決算短信
- ・決算補足資料(データブック)
- ・決算説明会スライド
- ・経営説明会(R&D等)スライド
- ・アニュアルレポート

IRメッセージ

- ・トップと直接相談しながら作成
- ・機関投資家IR担当者による作業

個人投資家向けIR

IRツール

- ・決算短信・決算補足資料
- ・IRメールマガジン(月2回)
- ・株主総会招集通知・株主通信
- ・個人投資家説明会スライド
(・アニュアルレポート)

↳ 会社案内の要素も併せ持つ

IRメッセージ

- ・原稿ベースでやり取りしながら作成
- ・個人投資家IR担当者による作業

2種類のメッセージを作成している状態

浮き彫りになっていた課題

機関投資家向けIR

- ・情報ツールの多さ
⇒伝えるべきメッセージの拡散
- ・制作に要する工数の多さ
- ・発行時期の遅れ
⇒特にアニュアルレポート
- ・ツール作成が「目的化」
⇒読者が読み易いのかどうか？
- ・ツール制作会社との連携

個人投資家向けIR

- ・機関投資家とのメッセージの相違
⇒説明会内容の相違
- ・いかに平易な内容を作るか
⇒上記とは逆の話
- ・株主通信制作に要する工数
- ・株主通信の他社との差別化
- ・2回/年 制作の物理的負担
- ・ツール制作会社との連携

2011年度のチャレンジと成果・課題

2011年度のチャレンジ

アニュアルレポート・株主通信の制作会社を一元化

➤ 成果

- ・同一のトップメッセージを、アニュアルレポート・株主通信に掲載
- ・株主通信の体裁・コンテンツが大幅に向上
また6月発行分、11月発行分の連動性も実現

➤ 課題

- ・アニュアルレポート制作の工数削減
- ・制作会社との連携強化⇒コンテンツに対するさらなる理解を促す
- ・株主通信のさらなるメッセージ性向上

2012年度に向けた課題

- ▶ アニュアルレポートのリニューアル
 - ・「何のために制作しているのか」を再検討
 - ⇒ 企業情報が溢れる中で、いかに読んで貰うか。
 - ・コンテンツの検証 発行時期の見直し
 - ⇒ 「総花」、「会社案内」的 内容の再検討
 - ⇒ 発行時期を前倒しするためには？（秋では遅すぎる・・・）

- ▶ 株主総会・招集通知のリニューアル
 - ・ヒナ型的内容から、メッセージが伝わる内容へ
 - ⇒ 読んで貰う「招集通知」に向け、体裁・コンテンツをリニューアル
 - ・株主通信などとの連動
 - ⇒ 招集通知(5月下旬)～株主総会(6月下旬)～株主通信(総会后)の流れを念頭に置いたコンテンツづくり

2012年度に目指している姿

機関投資家向けIR

個人投資家向けIR

